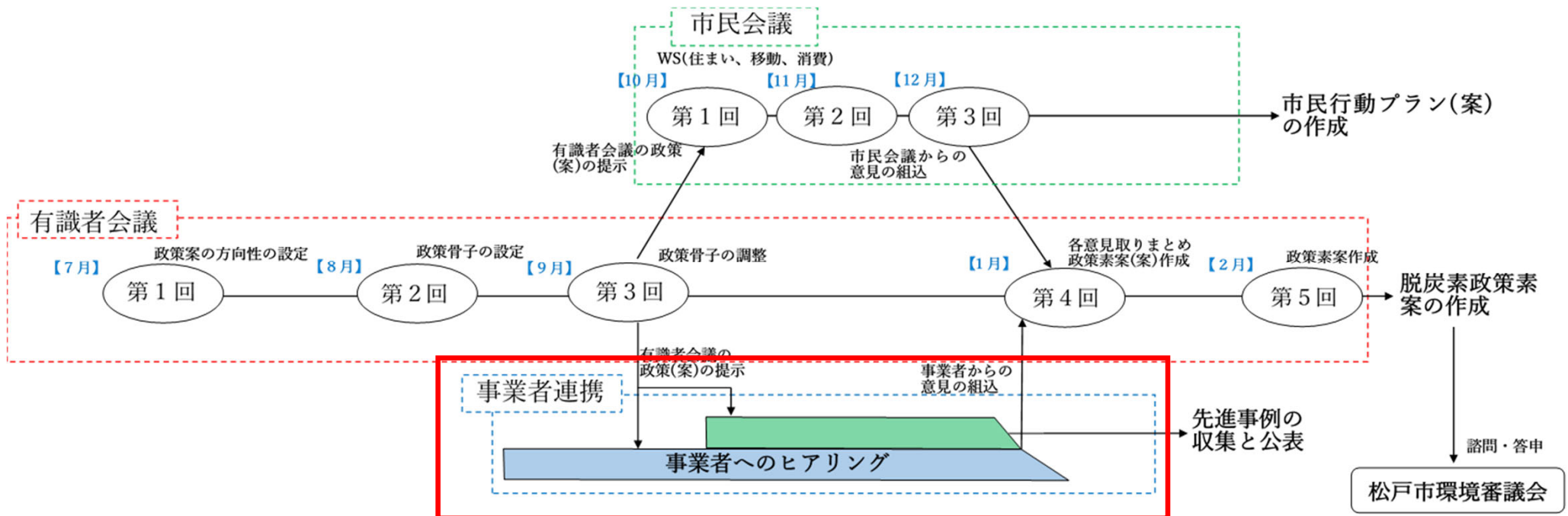


事業者ヒアリング及び事業者アンケートについて

目的

「市民行動プラン」及び「脱炭素政策素案」の作成にあたり、事業者の現状や課題を把握するとともに、これらの計画に事業者の意見を反映することを目的として、事業者ヒアリング及びアンケートを行う。

ヒアリング及びアンケートの位置付けと時期



事業者ヒアリングについて

事業者ヒアリングの実施方針

- ① 脱炭素に向けた事業者の先進取組事例等の収集を行う。
- ② 有識者会議で政策案を検討する際に、事業者からの意見を反映させる。
- ③ 政策実現に向けて、事業者との協力関係を構築する。
- ④ 各業界の事業者との情報交換を行う。

事業者ヒアリングの対象候補

【ヒアリング実施数】

15者程度を想定

【ヒアリング対象業界】

エネルギー関連事業、不動産業（開発事業者、住宅販売事業者）、建設業、廃棄物処理業、小売業、飲食業、商工会議所、等を想定

【実施方針番号ごとのヒアリング対象者の考え方】

- ① 業界を限定せず、先進的な取組を行っている事業者を対象とする。
- ② 政策案に関連が強いと考えられる業界の事業者を優先して対象とする。
- ③、④ 再エネ導入、省エネ等の脱炭素に関連が強いと考えられる業界の事業者を優先して対象とする。

ヒアリング内容

【先進的取組を行っている事業者】

- 取組事例の内容、効果、経緯
- 取組にあたって課題となったこと、その解決策

【政策案への関連が強いと考えられる事業者】

- 政策案の検討に関する情報の聴き取り
- 政策案に関する意見

【すべての事業者】

- 脱炭素に関する事業者、業界の動向
- 市の取組に関する意見、要望、等

事業者アンケートについて

事業者アンケートの実施方針

- ① 事業者の脱炭素に関する取組の状況や課題等を確認する。
- ② 市の政策案に対する反応を確認する。

事業者アンケートの対象候補

【アンケート実施数】

300者を想定

【アンケート対象】

アンケートはヒアリングを行う事業者以外を対象とし、市内事業者からランダムに選定する（可能な限り、業種、規模を考慮）。

アンケート内容

- 脱炭素に関する意識調査
- 脱炭素に関する取組の状況
- 脱炭素に取り組むにあたっての課題
- 市の政策案に関する反応
- 今後の市の脱炭素への取組に関する協力の可否
- 市への意見、要望